

太宰府市障害者施策推進協議会

会長 ^{さえき ゆきあき} 佐伯 幸昭さん



令和4年・寅年明けましておめでとうございます。

国は2017年に「地域共生社会」の実現に向けた工程を公表しました。「高齢者、障がい者、子ども子育てなど、地域のあらゆる生活課題」に対してこれまでの、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、包括的支援体制の整備（施策）が、今、地域福祉の推進において求められてきています。

2021年4月「地域福祉の推進」に当たり、

- ①「相談支援」身近な地域で、福祉なんでも相談受付・解決、専門機関へのつなぎ
- ②「参加支援事業」つながり・参加支援・居場所づくり・多世代間交流
- ③「地域づくり事業」分野・世代を超えた地域連携、見守り・話し相手・いきがい以上、具体的に3項目を国が示しました。

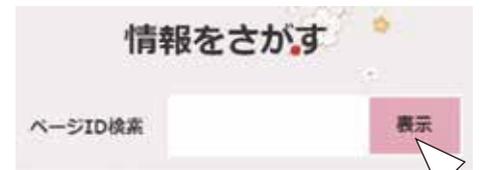
自治会（地域住民）・地域福祉事業経営者・地域福祉活動を行う者、三者が相互に連携を深め一体となり、地域において具体的な仕組みづくり・充実・強化が大切です。また、行政・支援関係機関・四者の連携・支援もますます重要です。「地域での支え合い・助け合い」世代や属性を問わない相談・地域づくりの体制づくりを目指して取り組んでまいります。今年も、地域の皆さまの温かいご理解・ご協力・ご支援を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

特集

- 新春特別対談2
- くすの記新春号3
- 私のだざいふ、市政ニュース、トピックス 4~7
- 産前産後家事サポート事業を始めます 8
- 令和3年分確定申告のご案内 9
- 新型コロナウイルスワクチンの接種について10
- 市からのお知らせ11~15
- 連載16~26
- なんでも情報コーナー 27~33
- 太宰府の文化財34

※掲載記事は編集作業の都合上12月13日時点までの情報に基づきます。配布時とのずれなどございましたらご了承ください。

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7けたのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

市政ニュース

先進教育の推進

「デジタルものづくり講座」と「プログラミング授業」を開催!

デジタルものづくり講座

コロナ禍によりさまざまな制約を受けている学生を支援し、ものづくりなどを通して次世代人材の育成を推進するため、(株)グッデイが運営するファブラボ太宰府にて11月11日(木)、「デジタルものづくり講座」を開催しました。

参加した太宰府高校芸術科の生徒は、自らデザインしたネームプレートやスタンプなどをレーザーカッターで制作しました。デザインの考案から機器の操作まで、意欲的に楽しみながら取り組んでいました。



レーザーカッターを操作する生徒たち

プログラミング授業

プログラミング教育の一環として、太宰府東小学校の6年生の理科の授業の中で11月22日(月)、(株)イーケイジャパンが開発したプログラミングモジュールを教材として活用するプログラミング授業を行いました。

児童は1人1台配布されているタブレット端末を使い、講師の指導を受けながらWebアプリを用いてLEDライトを点灯させるプログラムを作成しました。

授業を受けた児童たちは、教材を実際に動作させることで視覚的にプログラムを理解することができていました。



自作したプログラムでLEDを点灯させる児童たち